



Rotary Weekly

広島空港ロータリークラブ週報

2017年10月11日発行

会長 乗越耕司 / 副会長 佐々木正親 / 幹事 河井一郎 / SAA 玉川勇二郎

事務局 三原市本郷南6丁目3-26番地 三原臨空商工会 2階

TEL 0848-86-0986 ・ FAX 0848-86-0992 ・ E-mail h.kukorc@vega.ocn.ne.jp

例会会場 広島エアポートホテル TEL 0848-60-8111

2017-18年度

イアン H.S. ライズリー R I 会長テーマ

ROTARY: MAKING A DIFFERENCE

ロータリー: 変化をもたらす



OCT 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31

休会 月見例会 例会 チャリティバザー 休会 休会 地区大会

第1088回 2017年9月27日 藤中ガバナー公式訪問例会記録

会長幹事会 11:30~12:00 例会 12:30~13:30 フォーラム 13:40~15:10



点 鐘 佐々木副会長

国歌斉唱 ロータリーソング「奉仕の理想」

ご 紹 介

ガバナー 藤中秀幸 様 (岩国中央RC)

ガバナー随員幹事 勝井 優 様 (岩国中央RC)

ガバナー補佐 福島偉人 様 (三原RC)

ガバナー補佐幹事 田坂 潤 様 (三原RC)

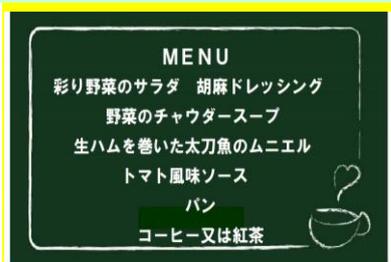
ビジター紹介

(三原RC) 中間隆雄様

出 席 報 告

	会員数 名誉会員	出席者	メイク	欠席 (免除)	出席率
本日 (9/27)	27 1	22 1	2	3	88.89
メイク	乗越・重森				
前々回 (9/6)	27 1	22 1	1	3 1	88.46
メイク	灰谷				

食 事 時 間



副 会 長 時 間



本日は会長が、公務の為、参加が難しいということで、入会5年目の私が副会長として大役を務めさせていただきますので、どうか、ロータリーの寛容の精神で何卒、よろしく願います。

本日は、遠いところ、2710地区、ガバナー藤中様、随伴幹事 勝井様 また、グループ9、ガバナー補佐、福島様、随伴幹事 田坂様、ようこそ、お越しくさざり、ありがとうございます。

さて、この2週間でいろいろな事がありました。カープのリーグ優勝(2軍も優勝)、衆議院の解散、上野動物園のパンダのメスの赤ちゃんの名前、香香、シャンシャンときまりました。

私は先日、広島空港警察歯科医会、総会、懇親会に参加してきました。この会は昭和60年8月12日に起こった日航機墜落事故(524人中520人が犠牲)を教訓にして、平成8年に竹原ロータリークラブの大田歯科医師が発起人になられ広島空港周辺の三地区、三原、竹原、東広島歯科医師会、管轄の3地区、警察署の方々が年に一度集まり連携を深めようという事で始まったもので21年続いております。法歯学の勉強、最近の警察署管内の身元の確認がどのように行われ、歯科医師会がどの様に協力できたか、など、具体的なお話を聞く事が出来ました。

最近では東北地方の大震災、熊本の震災に広島県歯科医師会から出動しておられるようです、警察の方と、私達、歯科医師、他職種が協力体制を構築するには、お互いのことを分かりあおうとする気持、行動、寄り添う気持が大切です。少子高齢化、人材不足など、大変な時代にむけ、横の他職種が連携する大切さが、さげばれています。発起人が、ロータリアンであったこと、またこの会が21年続いてことはすごいことだと改めて感じ、本日の会長挨拶で話をさせて頂こうと思いました。

起きてはならない事故ですが広島空港におそらく、一番近い?私としては万一何かあったら参加するつもりです。一生、出動することがないことを心より祈っています。他職種が連携している まさにこのロータリークラブで、また、出来ることを探していけたらと思っています。

幹 事 報 告

《配布物》週報1087号・公式訪問プログラム

《回 覧》全国空港フォーラムプログラム

月見家族例会出欠表

日時 2017年10月7日(土)19:00~

チャリティバザー出欠表

日時 2017年10月14日(土)15日(日)

卓 話 時 間



国際ロータリー第2710地区

ガバナー 藤中秀幸 様

皆様こんにちは。先ほどは心温まるお出迎えを頂きまして本当にありがとうございます。先ほど会長幹事会をさせていただきました。今日は乗越会長は公務の為どうしても出席できないという事で残念ではございますが、佐々木副会長に代わりにご出席いただき、広島空港RCのいろんなお話を聞かせていただきました。皆様方のクラブは1994年4月9日に創立され、23年の歴史がございます。クラブ概況並びに活動計画書を読まさせて頂くと、RI会長賞を12回、ガバナー賞、ガバナー特別賞、会員増強賞もとっておられ素晴らしい活動をされていると思いました。又、米山記念奨学生を3人、青少年交換学生として石坂さんを派遣されています。本当にありがとうございます。会員27名平均年齢が59歳、日本のロータリー平均年齢62歳ですからまだまだ若い方に入りますのでこれから大いに頑

張っていただきたいと思ひます。70才以上になりますとシニア部類に入りますが、日本の社会、日本の経済はシニアの方の支えがあつて安定した社会があるのだと思ひます。ロータリーも全く同じだと思ひます。

国際ロータリーの当地区における唯一の役員であるガバナーには公式訪問に際して、イアンH. S. ライズリーRI会長が掲げられたRIテーマ及び会長強調事項を伝達するという大きな義務が科されています。

RI 会長テーマ

「ROTARY : MAKING A DIFFERENCE」

「ロータリー：変化をもたらす」

RI会長は、国際協議会において20年前の自らのガバナーとしての1年間を振り返り、「ロータリアンの仲間たちと過した365日が私の人生を変えました。その1年間に、ロータリーの奉仕によって可能となった変化、即ち、その奉仕活動の対象となった人々や地域社会の変化を目の当たりにし、自分がしっかりと役目を果たせば、地区が人々の人生のみならず自分自身に変化をもたらすことを知りました。」と語り、ロータリーが末永く存続し、その重点分野と計画立案において持続可能性と継続性を保つためには、国際ロータリー理事会が戦略計画で定めた

3つの戦略的優先事項

(1) クラブのサポートと強化

(2) 人道的奉仕の重点化と増加

(3) ロータリーの公共イメージと認知度の向上

を達成することが大切であると強調され、更に環境問題を踏まえ地球の持続可能性についても「環境に対する良心」を呼び起こしたいとロータリアン一人が少なくとも一本の植樹をするよう提唱されました。

そして「ロータリーとは何ですか？」という問いに対して、私たちは行動をもって応えたい。奉仕を通じて変化をもたらすことによって！と述べられました。

具体的目標

1. クラブのサポートと強化について

イ. ロータリークラブ・セントラルの積極的活用

クラブの目標と達成状況を知ることができ、クラブの意欲を喚起することができる。また、マイ・ロータリーを通してロータリーの貴重なリソースの活用ができる。

ロ. クラブの具体的な課題としては、

① 男女会員のバランス

② ロータリアンの平均年齢 が問題です。

1989年規定審議会がロータリーに女性の入会を認める採決をして28年経ちます。しかし、女性会員の割合は20%強に過ぎず、本年度ガバナー539名のうち女性は103名、19.1%です。又、40歳未満の会員も報告済み会員のわずかに5%、会員の大半が60歳以上。組織の繁栄、持続性にとってこれらの問題に優先的に取り掛かる必要があります。

2. 人道的奉仕の重点化と増加について

ロータリーには6つの重点分野があり、そのすべてに不可欠な要素の一つが「持続可能性」です。

ポリオ撲滅活動は、ロータリーのあらゆる奉仕のモデルとなるべき活動で他団体とパートナーシップを組むことで世界に対して奉仕のインパクトを大きくする最善の方法となっています。

3. 公共イメージの向上は、これらクラブのサポートと強化、そして人道的奉仕の重点化と増加と相俟って、ロータリーとは何か、どんな活動をしているのかをより良く伝えることにより、ロータリーにふさわしい新会員の入会を増やすことができ、ロータリーの奉仕でより大きな成果を上げるために協力するパートナー団体を増やすことができます。

RI会長賞は、地元や海外の地域社会で変化をもたらしているクラブの貢献を称える重要な賞です。会長賞をめざすことによって、クラブが元気に、そして地域が元気になります。是非とも会長賞をめざし、活発な活動をお願い致します。その際には、皆様の活動状況を、ロータリークラブ・セントラルを利用して記録し、進捗状況を把握して下さい。奉仕活動に費やした時間と資金を、ロータリークラブ・セントラルを使用することによりRIも皆様の活動状況を知ることができ、それがRI会長賞につながります。マイロータリー及びロータリークラブセントラルの積極的な活用をお願い致します。

2710 地区の活動方針

ガバナー信条「時代の変化の先頭に立とう!! ロータリーの心で地域の創生を!!」

目標は「ロータリーの元気は地域の元気」です。

今日の世界と日本の政治、経済、社会の劇的な変化を鑑みたとき、私たち自身も変化する必要があります。将に「不易流行」です。先達が数々の経験から学び築き上げ、そして世界に広がったロータリー。その基本理念であるロータリーの目的、また、中核的価値観である親睦、高潔性、多様性、奉仕、リーダーシップをしっかりと認識しながら、少子高齢化、グローバル化が日々進展する地域社会でどのようなロータリー活動を行うべきか。

私は、10の重点運営方針を掲げました。

2016年規定審議会で決定されたクラブ運営の柔軟性は、活力あるクラブにする為に是非とも検討して頂きたい事項です。クラブの置かれている状況により対応は異なるでしょう。女性会員や若い会員の増強も負担の軽減、例会の実施方法等の変更により大きくなる可能性があります。

クラブ間やグループ間の連携も重要です。互いに共感し合える活動を連携し、地域社会により大きなインパクトを与えることができます。地域社会で奉仕活動するボランティア団体やNPO法人等との協力も必要です。田原直前ガバナーの提唱されたがん予防の普及・推進も2年目に入ります。次代を担う青少年に対し適切ながん予防を普及することは極めて大切な活動です。行政や医師会、教育委員会、父兄会等との連携は不可欠です。

米山奨学生やローターアクター、インターアクターの協力を求めている合同活動もクラブの活性化につながります。ローターアクターは、今組織の維持に真摯に取り組んでいます。提唱クラブに限らずそれ以外のクラブもローターアクターを招くなど応援して頂ければ幸いです。活力あるすばらしい青年達です。よろしくお願い致します。財団については、ポリビアの水頭症への支援を、地区20クラブが参加して合同グローバル補助金として申請できたことに財団委員会をはじめ関係者の皆様に心から敬意を表します。今後も、補助金申請していなかったクラブにも呼びかけ、合同プロジェクトができるようになれば、ロータリー

が地域や世界ですばらしい奉仕活動を行っていることが実感でき、ロータリーの幅の広さ、そして奥深さを知ることになり、財団への理解がもっと深まると思います。このように、世界や地域社会に寄り添った奉仕活動を通して、公共イメージと認知度の向上を図ることができれば、会員増強にも大きく寄与するものと思います。

クラブの将来を考える戦略計画委員会の役割りも重要です。5年先、10年先のクラブのあるべき姿を思い描きながらこれまでの活動を棚卸し、クラブの英知としての役割りを果たして下さい。

最後に、ロータリーの知的資産の蓄積と活用です。ロータリアンが充実感の持てた、他クラブにも誇れる奉仕活動、感動を受けた卓話等を地区公共イメージ委員会に報告して下さい。地区のホームページ、ロータリーの友等を通して紹介し、優秀な作品はガバナー特別賞を創設して進呈します。

ロータリアンの皆様、ロータリーの元気が地域の元気です。多くのロータリアンが地域のリーダーとして活躍しています。皆様のクラブの特性を活かし、活力あるクラブにするためには連携と共感がキーワードになります。ロータリーの未来を語り合い、地域社会に、そして私達自身に変化をもたらす活動を展開して行きましょう。どうかよろしくお願い致します。

フォーラム



藤中ガバナー講評と指導

長時間お疲れ様でした。今日お伺いしまして、佐々木副会長、河井幹事さんがお若いのに先ずビックリいたしました。皆様のクラブの平均年齢も59才、ここに集まっておられる方も1950年生まれの方が多く本当に今日は楽しいフォーラムをさせていただきました。健康だけはお互いに注意しながら活動に取り組んでいければと思っておりますので今後ともどうぞよろしくお願いいたします。今日はありがとうございました。